

## ▼ 本調査・研究の目的

本調査・研究は、仙台市の子どもの遊びの環境の実態や他都市の事例等をハード・ソフト両面から整理し、仙台市における遊びの環境のあるべき方向性を検討するための、基礎的な調査・研究を行うことを目的とします。なお、本調査・研究における「子ども」とは、概ね18歳未満の者をいいます。

## ▼ 本調査・研究における「子どもの遊び」

「子どもの遊び」を、子ども自身の身体、心の自然な欲求に基づく、自らの成長を促す自発的な行為と捉えます。

## ▼ 本調査・研究における遊びの環境の捉え方

子どもの遊びの環境を捉えるにあたり、子どもの**発達段階**と**利用頻度**を軸として遊びの環境を整理します。

### 発達段階

- 乳幼児：保護者とのふれあいが最も求められる
  - ：自我が芽生え、社会性の原点を持つ
- 小学生：非認知能力の発達に大きく影響する
  - ：身体も大きく成長し、自己肯定感を持ち始める
- 中高生：家族よりも友達と過ごす時間が増えるようになる
  - ：物事を主体的に選択するようになる

### 利用頻度

- 高頻度：週に数回程度利用する、日常的な遊び場
- 中頻度：月に数回程度利用する場
- 低頻度：年に数回程度利用する、レジャーやイベントの要素が含まれる非日常の場

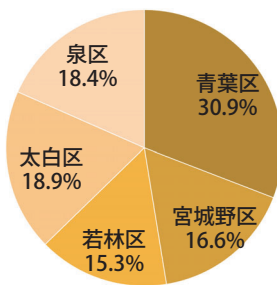
## ▼ 本調査・研究 | 概要版 | の構成

子育て家庭への「**保護者アンケート**」や子育て支援団体・高校生などへのグループインタビュー、遊び場の実態調査を基に仙台市の遊びの環境を**概念図**として整理し、その**特徴**や**ニーズ等**をまとめました。

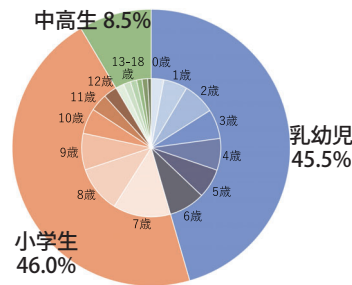
## 子どもの遊びの環境に関する保護者アンケート

期間：令和2年12月1日～令和3年1月11日  
 対象：仙台市在住で18歳以下の子どもの保護者  
 方法：ウェブアンケート方式  
 回答数：1,834  
 概要：遊ぶ場所の利用実態や保護者が子どもを遊ばせる時の課題やニーズを回答

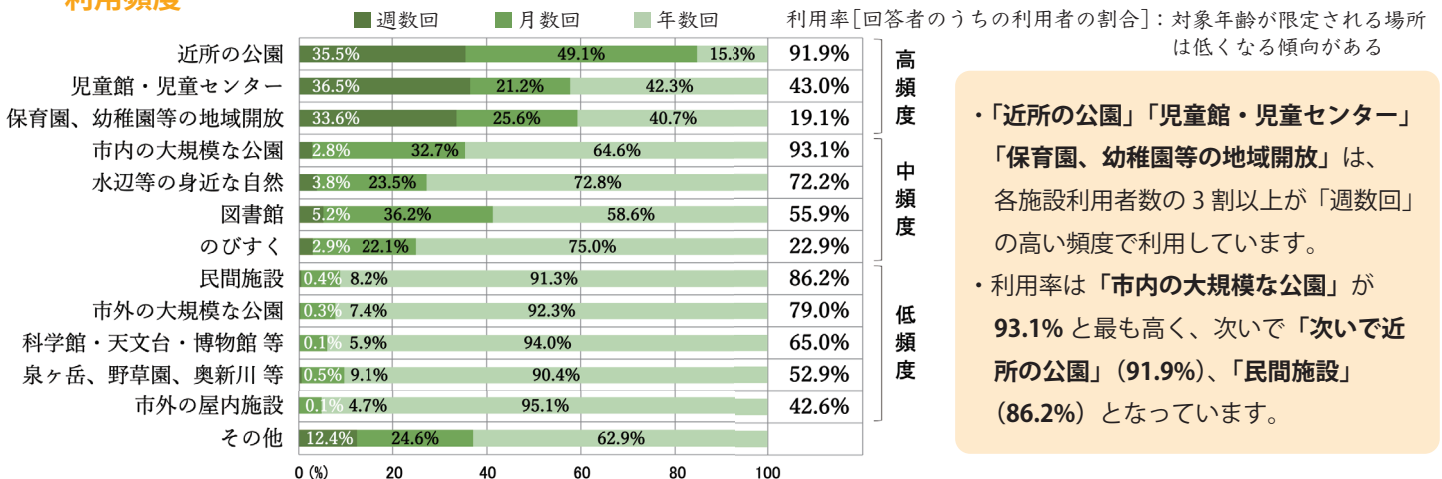
### 居住区



### 子どもの年齢

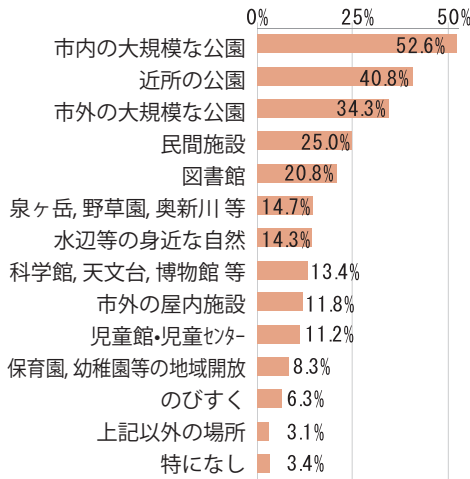


### 利用頻度

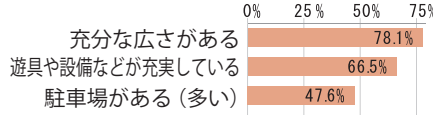


## 気に入っている場（保護者の回答）

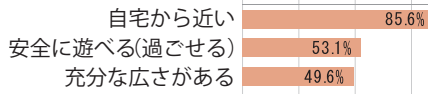
## その理由（上位3件）



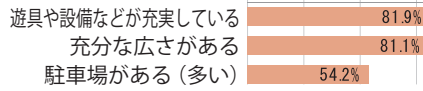
### 市内の大規模な公園



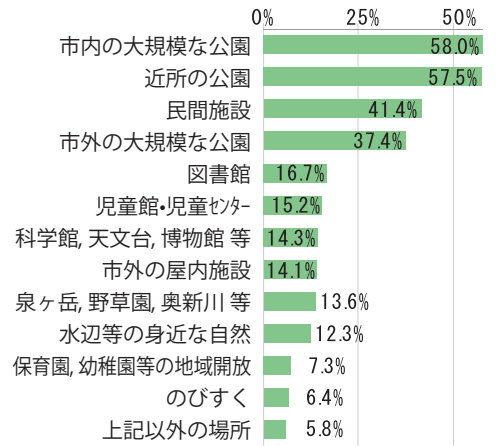
### 近所の公園



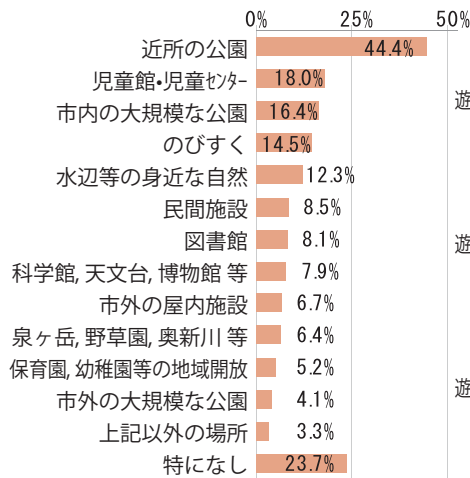
### 市外の大規模な公園



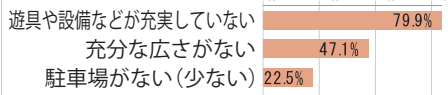
## 気に入っている場（子どもの回答）



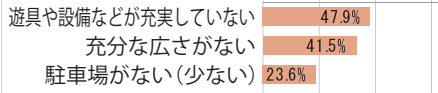
## 物足りないと感じている場（保護者の回答） その理由（上位3件）



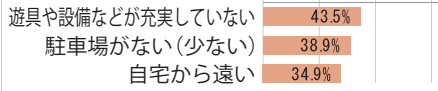
### 近所の公園



### 児童館・児童センター



### 市内の大規模な公園

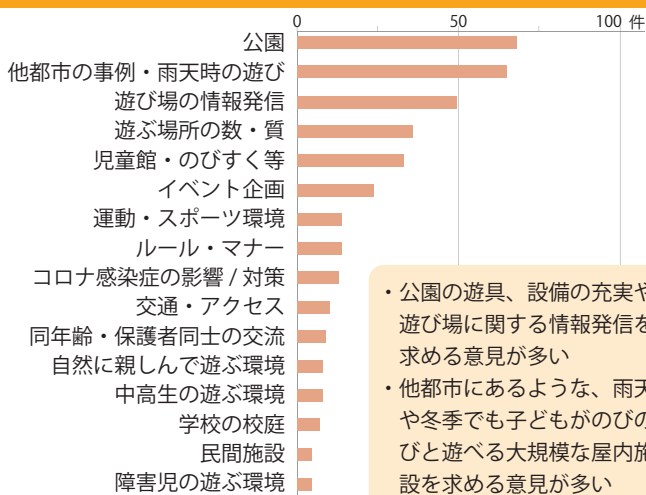


・気に入っている場所については、「市内の大規模な公園」が52.6%と最も高く、次いで「近所の公園」（40.8%）「市外の大規模な公園」（34.3%）となっています。また、子供の回答では水族館などの「民間施設」が41.4%と3番目に挙がっています。

・「近所の公園」は、回答者全体の4割強が「物足りないと感じている場所」と回答しています。

・「気に入っている」または「物足りない」理由には、遊具や設備などの充実、十分な広さ、駐車場が関係していることが分かります。

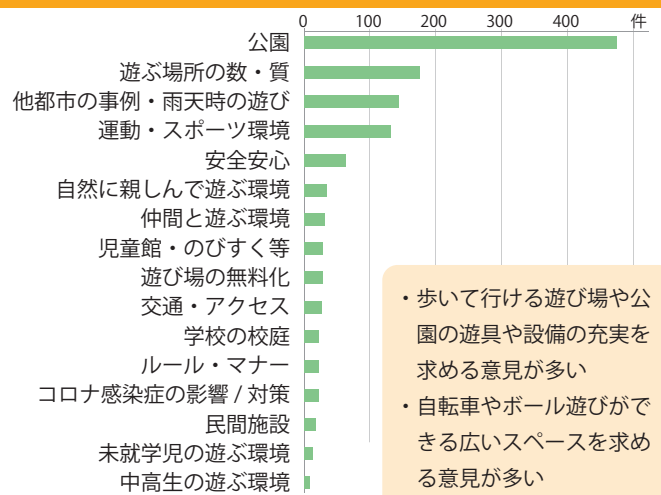
## 保護者の自由記述



・公園の遊具、設備の充実や遊び場に関する情報発信を求める意見が多い

・他都市にあるような、雨天や冬季でも子どもがのびのびと遊べる大規模な屋内施設を求める意見が多い

## 子どもの自由記述



・歩いて行ける遊び場や公園の遊具や設備の充実を求める意見が多い

・自転車やボール遊びができる広いスペースを求める意見が多い

## 子どもの遊びの環境に関するグループインタビュー

### 児童館・のびすく運営団体

日時：令和2年11月27日  
対象：児童館・のびすくより各区1名（計9名）

### 子育て支援・プレーパーク活動団体

日時：令和2年12月11日  
対象：支援団体より1,2名（9組11名）

### 保護者

日時：令和3年1月28日  
対象：アンケート回答者から11名

### 高校生

日時：令和2年12月1日～21日  
令和3年1月15日～2月4日  
対象：仙台第三高校の生徒60人  
宮城広瀬高校の生徒9人

# 仙台市の遊びの環境の特徴とニーズ

アンケート、グループインタビューと実態調査から利用頻度と発達段階で分けて整理します。

## 高頻度～中頻度で利用する遊びの場

- ・市民一人当たりの公園面積 (15.39 m<sup>2</sup> / 人) は、政令指定都市平均 (6.8 m<sup>2</sup> / 人) を超えて高水準です。
- ・日常の遊び場として最も多く利用されている近所の公園等は約1,800か所ある一方、小規模な公園が多く、配置状況は地域により偏りがあります。また、施設の老朽化が進んでいます。
- ・健全な遊びを提供する施設として児童館が概ね小学校区に1館設置され、他都市と比較して充実傾向です。
- ・子育て支援の拠点となる施設として、「のびすく」が各区に1か所設置されています。

### 利用状況・ニーズ等

#### 【全般】

保護者、子どものいずれからも、気に入っている遊び場の上位に「近所の公園」、「市内の大規模な公園」が挙げられましたが、物足りない場としても上位に位置し、遊具や設備、広さ、駐車場の充実等を求める意見がありました。また、身近な施設をもっと活用し、地域の子どもは地域で遊ばせていくべきという意見がありました。

#### 乳幼児

- ・近所の公園は、乳幼児親子の約9割が利用し、その大半が高～中頻度で利用しており、最も身近な遊び場となっています。
- ・転入者の多い仙台市での親子への交流機会の提供や、子育て、子どもの遊びの見守り方で悩む保護者へのサポートなどの必要性についての意見がありました。

#### 小学生

- ・小中学校等では、校庭を開放している場合もありますが、利用時間の延長や放課後・休日の遊び場としての活用について意見がありました。
- ・児童館は、放課後児童クラブの利用登録者の増加等により、「十分な広さが無い」といった意見がありました。

#### 中高生

- ・のびすく泉中央4階プラザは、市内で唯一、中高生に特化した公設の施設です。同世代の子どもや大学生スタッフとの交流の機会等を提供しています。
- ・友達とゆっくりと（勉強もしながら）おしゃべりできる場所を求める意見が多くありました。

## 中頻度～低頻度で利用する遊びの場

- ・東北唯一の政令指定都市という都市規模を背景として、アンパンマンこどもミュージアム&モール、うみの杜水族館、八木山ベニランド等の様々な民間施設があります。また、近隣自治体の遊び場へのアクセス環境は良好であると言えます。
- ・スキー場やキャンプ場など、自然を生かした遊び場は一定程度あり、学都・仙台の特性として、大学等に付随する施設も多くあります。
- ・科学館・博物館・天文台等の屋内の社会教育・文化施設は多数存在しますが、近隣自治体にあるような体を使って遊べる大型の屋内の遊び場は見られません。

### 利用状況・ニーズ等

#### 【全般】

アンケート回答者の約8割が「市外の大規模な公園」を利用しており、保護者、子どものいずれからも、近隣自治体にあるような体を動かして遊べる屋外施設や、天候に関わらず利用できる屋内施設の充実を望む意見がありました。

#### 乳幼児

- ・市外の大規模公園や市外の屋内施設については、子どもの動きが大きくなり、のびすくや地域子育て支援センター等では物足りなくなる年齢で利用率が増加しています。
- ・乳幼児が無料で楽しめる施設に関する情報提供を望む意見がありました。

#### 小学生

- ・社会教育・文化施設は小学生の約8割が利用しており、他の年齢層と比較して割合が高いです。小学校入学時に配布され、施設を無料で利用できる「どこでもパスポート」も一定の役割を果たしていると考えられます。

#### 中高生

- ・家族よりも友人との買い物や会話など、友人と過ごす機会が増える傾向がありました。日常的な居場所についての意見が多くなる一方で、自然と触れ合える、たまに体を動かせる、一人でゆっくり過ごせる、といった機会を望む意見も挙げられました。

## 子どもの遊びの環境に関する今後の取組み

今後、仙台市が持続可能な都市経営を行いながら、仙台市にふさわしい遊びの環境の充実を進めるにあたっては、ハード、ソフトの両面において、財政的な視点も踏まえた民間活力の活用や既存施設の有効活用等の手法も含め、幅広く検討していくことが望まれます。

# 仙台市 遊びの環境に関連する概念図

※子ども自身の身体、心の自然な要求に基づき、自らの成長を促す自発的な行為

屋外の遊び場

屋内の遊び場

枠線無しは遊び場として  
の要素が薄い場

## 高頻度

(日常的な遊び場)

## 中頻度

(レジャーやイベントの要素も含まれる非日常の場)

## 低頻度

(近隣自治体の遊び場等)

乳幼児

小学生

中高生

発達段階

非認知能力の涵養

認知能力の習得

街区公園・近隣公園など身近な公園 約1800か所

児童館・児童センター 113館

小・中学校等 (スポーツ開放)  
(自由活動開放)

幼稚園・認定こども園(広場事業) 10か所

保育所(地域子育て支援センター事業) 29か所

子育てふれあいつらぎ等(のびすく) 5か所

市民センター 60館

地区公園・総合公園など規模が大きい公園 約60か所

●八木山動物公園

●三居沢交通公園  
●南小泉交通公園  
●海岸公園冒険広場

●西公園  
●台原森林公園  
●七北田公園  
●榴岡公園

など

野球場・サッカー場・テニスコート・プール・体育館などのスポーツ施設

市立図書館 宮城県図書館 文化センターなど

水辺等の身近な自然

商業施設内の遊戯施設等

●仙台アンパンマンミュージアム&モール

●仙台うみの杜水族館

●八木山ベニールランド

自然環境・自然体験・農業体験施設など

●泉ヶ岳スキー場  
●グリーンバレー仙台泉スキー場  
●キャンプ場(水の森二口・泉岳)  
●泉岳自然ふれあい館

●野亭園  
●太白山自然観察の森  
●青葉の森緑地  
●秋保デジタルセンター

●農業園芸センター

など

社会教育・文化施設など

●科学館  
●天文台  
●せんだいでザアテラス  
●博物館  
●仙台文学館

●地底の森ミュージアム  
●縄文の森広場  
●歴史民俗資料館  
●大倉ふるさとセンター  
●水道記念館

●市電保存館  
●秋保工芸の里  
●秋保・里センター  
●カメイ美術館  
●宮城県美術館

大学が設置する博物館・史料館・植物園・美術館など

規模が大きい公園等

●みちのく杜の湖畔公園(川崎町)  
●ひがしなほそびあランド(東根市)  
●宮城県民の森(利府町)

●名取市サイクルスポーツセンター  
●べにっこひろば(山形市)  
●加瀬沼公園(利府町)

●セントメリースキー場(川崎町)  
●湯田海水浴場(七ヶ浜町) など

屋内施設等

●ぎくらんぼダントクルセンター(東根市)  
●こじゅうこうろくキッズランド(亘理市) ●げんキッズ(天童市)